

## 松本陽正先生の略歴と主要著作目録

### 略 歴

- 1951（昭和 26）年 3 月 24 日 高知県に生まれる
- 1963（昭和 38）年 3 月 土佐市立戸波小学校卒業
- 1963（昭和 38）年 4 月 土佐市立戸波中学校入学
- 1964（昭和 39）年 4 月 私立高知中学校に編入
- 1966（昭和 41）年 3 月 同上卒業
- 1966（昭和 41）年 4 月 私立高知高等学校入学
- 1969（昭和 44）年 3 月 同上卒業
- 1969（昭和 44）年 4 月 広島大学文学部史学科東洋史学専攻入学
- 1970（昭和 45）年 4 月 広島大学文学部文学科フランス語学フランス文学専攻に転学科
- 1973（昭和 48）年 3 月 同上卒業
- 1973（昭和 48）年 4 月 広島大学大学院文学研究科博士課程前期フランス文学専攻入学
- 1976（昭和 51）年 3 月 同上修了
- 1976（昭和 51）年 4 月 広島大学大学院文学研究科博士課程後期フランス文学専攻進学
- 1980（昭和 55）年 3 月 同上単位取得退学
- 1980（昭和 55）年 4 月 広島女学院大学文学部専任講師
- 1984（昭和 59）年 7 月 フランス・スタージュ（フランス政府招聘フランス語教育研修会）参加のため渡仏（モンペリエ、パリ）（同年 9 月まで）
- 1985（昭和 60）年 4 月 広島女学院大学文学部助教授
- 1990（平成 2）年 4 月 広島大学文学部助教授
- 1991（平成 3）年 1 月 広島大学大学院文学研究科博士課程担当
- 1998（平成 10）年 1 月 博士（文学）学位取得（広島大学）
- 1998（平成 10）年 4 月 広島大学文学部教授
- 2001（平成 13）年 4 月 改組により，広島大学大学院文学研究科教授
- 2001（平成 13）年 9 月 文部科学省在外研究員として渡仏（マルヌ＝ラ＝ヴァレ大学客員研究員）（2002 年 6 月まで）

2004（平成16）年 4月 法改正により，国立大学法人広島大学大学院文学  
研究科教授

2016（平成28）年 3月 広島大学停年退職予定

### **非常勤講師**

広島経済大学

福山大学

岩国短期大学

広島大学（総合科学部）

ノートルダム清心女子短期大学

呉大学

### **非常勤講師（集中講義）**

島根大学：1999（平成11）年度

信州大学：2003（平成15）年度

尾道市立大学：2012（平成24）年度，2013（平成25）年度，2014（平成26）年度

## 著訳書・論文・その他

### I. 著書

1. 『アルベール・カミュの遺稿 *Le Premier Homme* 研究』  
駿河台出版社, 1999年2月
2. 『心の二重性 — 文学的エッセー —』  
溪水社, 2003年7月
3. 『「異邦人」研究』  
広島大学出版会, (印刷中)

### II. 訳書

1. クリスティアーヌ・ショーレ＝アシュール著 『アルベール・カミュ、アルジェ』  
[共訳] 国文社, 2007年11月

### III. 分担執筆・項目執筆・教科書

#### 分担執筆

1. 『ヨーロッパを語る 13 の書物』(戸田吉信編)  
「カミュ『異邦人』 — 不条理ゆえに生きる —」 勁草書房, 1989年4月

#### 項目執筆

1. *Dictionnaire Albert Camus* (sous la direction de Jeanyves Guérin)  
« enfant », « honneur », « réception japonaise »  
Robert Laffont, 2009年10月

#### 教科書

1. 『生きたフランス語文法』(改訂版) [共著] 白水社, 1984年3月
2. *Le Petit Chaperon jaune* [共編] 駿河台出版社, 1984年10月
3. 『フランス語そぞろ歩き』[共著] 行人社, 1987年4月
4. 『アロー・フランス日本版』[共編] 白水社, 1993年3月

### IV. 論文

1. アルベール・カミュにおける《鏡》について  
『フランス文学』(日本フランス語フランス文学会中国・四国支部)12号, 1978年5月
2. 『ペスト』に関する一考察 — 補完的人物タルーと彼の死について —  
『広島女学院大学論集』30集, 1980年12月
3. 『追放と王国』 — <王国> の意味と作品集の統一について —  
『広島女学院大学論集』31集, 1981年12月

4. 『異邦人』における太陽の image 『広島女学院大学論集』 35 集, 1985 年 12 月
5. アルベール・カミュにおける特権的瞬間 — 「肯定と否定との合間」 — とその変容について 『広島大学フランス文学研究』 5 号, 1986 年 11 月
6. 『異邦人』の「小柄な機械人形」について 『広島女学院大学論集』 37 集, 1987 年 12 月
7. カミュとスタンダール — 『異邦人』と『赤と黒』をめぐって— 『広島女学院大学論集』 39 集, 1989 年 12 月
8. 『誤解』の生成過程 — 二つの「新聞記事」との比較を通して— 『広島大学フランス文学研究』 9 号, 1990 年 10 月
9. 『誤解』のキーワード— reconnaître— について 『広島大学文学部紀要』 50 巻, 1991 年 3 月
10. Sur l'honneur chez Camus — nouvelle valeur dans *L'État de Siège* *Études de Langue et Littérature Françaises*, 60 号, 1992 年 3 月
11. 『ペスト』の「オトン氏の息子」について 『広島大学文学部紀要』 52 巻, 1992 年 12 月
12. 『異邦人』における海のイメージ 『広島大学文学部紀要』 53 巻, 1993 年 12 月
13. L'Image de l'enfant chez Camus 『カミュ研究』 1 号, 1994 年 10 月
14. カミュの *Le Premier Homme* について 『広島大学文学部紀要』 54 巻, 1994 年 12 月
15. アルベール・カミュにおける「男」について 『フランス語フランス文学研究』 67 号, 1995 年 10 月
16. 『追放と王国』にみられる *Le Premier Homme* の影 — 『生い出ずる石』を中心に— 『広島大学フランス文学研究』 15 号, 1996 年 10 月
17. カミュの作品にみる樽職人の叔父像の変遷 『広島大学文学部紀要』 56 巻, 1996 年 12 月
18. *Le Premier Homme* の形成過程 『広島大学フランス文学研究』 16 号, 1997 年 11 月
19. カミュにおける「兄」について 『広島大学文学部紀要』 57 巻, 1997 年 12 月
20. *Le Premier Homme* への一考察 — 二重の « déraciné » ジャック — 『カミュ研究』 3 号, 1998 年 5 月
21. 『異邦人』の形成過程に関する一考察 『広島大学文学部紀要』 60 巻, 2000 年 12 月

22. *Le Premier Homme* : le processus d'élaboration  
*Albert Camus 20* (Lettres Modernes Minard), 2004 年 4 月
23. L'Ombre portée par *Le Premier Homme* sur *L'Exil et le royaume*  
*Albert Camus 20*, 2004 年 4 月
24. 短編小説の新しいかたち  
 — 『号泣する準備はできていた』をテキストとして読む —  
 『表現技術研究』創刊号, 2004 年 10 月
25. エクスプリシットから読み解くカミュの小説世界,  
 『広島大学フランス文学研究』23 号, 2004 年 11 月
26. カミュのターニングポイント — 1953 年 40 歳 —  
 『広島大学フランス文学研究』24 号, 2005 年 12 月
27. Année 1953 : le tournant décisif — Camus a quarante ans  
 『カミュ研究』7 号, 2006 年 5 月
28. カミュの『手帖』  
 『表現技術研究』3 号, 2007 年 3 月
29. アルベール・カミュにおける不条理について — 『異邦人』を中心にして —  
 『広島大学フランス文学研究』26 号, 2007 年 12 月
30. Sur « le fils de M. Othon » de *La Peste*  
 『広島大学フランス文学研究』27 号, 2008 年 12 月
31. Portrait de la grand-mère chez Camus  
 『広島大学フランス文学研究』28 号, 2009 年 12 月
32. 藤村『破戒』の初版と改訂版との異同に関する一考察  
 — 猪子蓮太郎像の造形にみるヴィニーの影響とその消去 —  
 『尾道大学日本文学論叢』5 号, 2009 年 12 月
33. ムルソー, 考える男  
 『広島大学フランス文学研究』29 号, 2010 年 12 月
34. カミュ, フランセ・ダルジェリ  
 — 『最初の人間』にみるアラブ人との共存の夢 —  
 『広島大学フランス文学研究』30 号, 2011 年 12 月
35. カミュ『異邦人』とサルトル「壁」  
 『広島大学大学院文学研究科論集』72 巻, 2012 年 12 月
36. *L'Étranger* de Camus et « Le Mur » de Sartre  
 『広島大学フランス文学研究』31 号, 2012 年 12 月
37. 漱石『こころ』の魅力  
 『表現技術研究』8 号, 2013 年 3 月
38. Meursault, un homme qui réfléchit  
 『カミュ研究』11 号, 2013 年 5 月

39. 『異邦人』と『幸福な死』 『広島大学フランス文学研究』32号, 2013年12月
40. カミュ「ルイ・ランジャール」— 『異邦人』への第一歩 —  
『表現技術研究』9号, 2014年3月
41. Camus, un Français d'Algérie  
— le rêve de la coexistence avec les Arabes dans *Le Premier Homme* —  
*Albert Camus 23*, 2014年9月
42. Le Processus d'élaboration de *L'Étranger* 『カミュ研究』12号, 2015年5月

## V. 研究ノート・報告書・紹介・書評

### 研究ノート・報告書

1. カミュ研究の現況 『広島大学フランス文学研究』21号, 2002年11月
2. Camus maintenant au Japon 『カミュ研究』10号, 2011年5月

### 紹介

1. Albert Camus, *Le Premier Homme*  
『サリュ』(アミカル・フランセーズ)36号, 1997年12月
2. カミュ『シーシュポスの神話』  
『大学新入生に薦める101冊の本』(新版), 2009年3月

### 書評

1. オリヴィエ・トッド著, 有田英也・稲田晴年訳,  
『アルベール・カミュ <ある一生>』(毎日新聞社, 2001年)  
『ふらんす』, 2001年4月
2. 三野博司著,  
『カミュ「異邦人」を読む』(彩流社, 2002年),  
『カミュ 沈黙の誘惑』(彩流社, 2003年)  
『学会ニュース』126号 別冊「書評特集」, 2007年7月

## VI. その他

1. 私の本棚 『キャンパス・ニュース』(広島女学院大学)53号, 1980年12月
2. メモワール 『キャンパス・ニュース』58号, 1981年10月
3. あなたの待ち望むもの  
『チャペルだより』(広島女学院大学宗教委員会)33号, 1981年11月

4. 「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」  
『チャペルだより』43号, 1983年5月
5. 心の二重性 ① 「二人のカミーユ」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
6. 心の二重性 ② 神吉拓郎「私生活」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
7. 心の二重性 ③ 「仮面の告白」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
8. 心の二重性 ④ 「ジーキルとハイド」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
9. 心の二重性 ⑤ ドストエフスキー 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
10. 心の二重性 ⑥ 「スキャンダル」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
11. 心の二重性 ⑦ カミュ「転落」 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
12. 心の二重性 ⑧ 無意識と自己批評 『中国新聞』「緑地帯」欄, 1987年3月
13. フランス語による上品な駄洒落の作り方 『サリュ』創刊号, 1989年3月
14. ぼくの原点 『チャペルだより』84号, 1989年4月
15. ほのぼのとした語り 『中国新聞』「晴読雨読」欄, 1989年9月
16. ユーロの時代 『広島日仏協会報』No.155, 2002年3月
17. ぼくのモントルグウイユ通り物語 (1) 『サリュ』56号, 2002年12月
18. フランスカフェ事情あるいはカフェ『ル・サントル・ヴィル』物語  
『不死鳥』(広島大学)42号, 2003年3月
19. ぼくのモントルグウイユ通り物語 (2) 『サリュ』57号, 2003年3月
20. ぼくのモントルグウイユ通り物語 (3) 『サリュ』58号, 2003年6月
21. ぼくのモントルグウイユ通り物語 (4) 『サリュ』59号, 2003年9月
22. ぼくのモントルグウイユ通り物語 (5) 『サリュ』60号, 2003年12月
23. パリ映画事情 『不死鳥』43号, 2004年3月
24. 今なぜ文学か? 『日本海新聞』, 2003年9月
25. 短編小説の新しいかたち 『日本海新聞』, 2004年10月
26. 変形加えたカミュの才能 『日本海新聞』, 2005年9月
27. Comment exprimer mes ... ?  
『広島大学フランス文学研究』24号, 2005年12月
28. 「アザミ嬢のララバイ」  
『人文学へのいざない』(広島大学大学院文学研究科), 2006年2月
29. パリの映画事情 『広島日仏協会報』No.169, 2006年3月
30. 「待つ」という出会い 『日本海新聞』, 2006年10月
31. 長編小説の閉じ方 『日本海新聞』, 2008年9月
32. 異質な文化を学ぶ意味 『日本海新聞』, 2009年10月

33. カミュ没後 50 年 『広島日仏協会報』 N°.182, 2010 年 8 月
34. カミュ「没後 50 年」に思う 『日本海新聞』, 2010 年 10 月
35. 隣国との付き合い方 『日本海新聞』, 2011 年 10 月
36. 30 号に寄せて 『広島大学フランス文学研究』 30 号, 2011 年 12 月
37. 10 年という歳月 『日本海新聞』, 2012 年 10 月
38. 実学へのいざない 『人文学へのいざない』(改訂版), 2013 年 3 月